

会 議 議 事 録

1 会議名	令和8年度 第1回 長岡市子ども・子育て会議
2 開催日時	令和8年7月27日（月曜日） 午後2時から午後4時まで
3 開催場所	さいわいプラザ 6階 大会議室
4 出席者名	（委員） 渡辺美子委員長、山川千恵子副委員長、永井林一郎委員、伊東俊樹委員、皆川明永委員、鷺尾奈津樹委員、佐藤学委員、若井仁資委員、櫻井和夫委員、ジョーンズ文穂委員、五十嵐俊子委員、高橋美幸委員、横澤勝之委員、堀内慶大委員、五十嵐瑛美委員 （アドバイザー） 小池由佳教授（新潟県立大学） （事務局） 子ども未来部：星野部長 保育課：殖栗課長 保育政策係：今井係長、岡田主査 こども家庭センター：込山所長 学校教育課：中村課長 福祉課：勝沼課長 子ども政策課：松木課長、木村課長補佐 子ども政策調整班：馬場係長、大崎主査、田村主任、 池田子どもナビゲーター 児童育成班：丸山係長
5 欠席者名	佐藤昌弘委員、成田涼委員、田邊香織委員、高橋聡委員、 捧智香委員
6 議題	(1) 委員長指名、副委員長選出 (2) 令和8年度長岡市子ども・子育て会議のスケジュールについて (3) 長岡市こども計画に係る令和7年度子育て支援施策の実施状況について (4) 長岡市こども計画に係る子育て支援施策の指標の追加について

	(5)「保育提供体制の確保のための実施計画」及び「整備計画」の承認について (6) 長岡市子ども・若者の権利条例について
7 会議結果の概要	議事（1）について ・子ども政策課が当日資料１に基づき説明 ・委員長指名、副委員長選出 議事（2）について ・子ども政策課が資料１に基づき説明 ・質問・意見等なし 議事（3）について ・子ども政策課が資料２に基づき説明 ・各課が当日資料２に基づき説明 ・質問・意見等は下記のとおり 議事（4）について ・福祉課が資料３に基づき説明 ・質問・意見等は下記のとおり 議事（5）について ・保育課が資料４に基づき説明 ・質問・意見等はなし 承認 議事（6）について ・子ども政策課が資料５に基づき説明 ・質問・意見等はなし
8 会議の内容	
事務局	1 開会
事務局	2 委嘱状交付
部長	3 あいさつ
委員	4 委員自己紹介
アドバイザー	5 アドバイザーの自己紹介
	6 議事
事務局	議事（1）委員長指名・副委員長選出について、当日資料１「長岡市子ども・子育て会議条例」の第５条第１項により、渡辺美子委員を委員長に指名した。

委員長	同条例第5条第3項により、委員長は山川千恵子委員を副委員長に指名した。
委員長	議事（2）令和8年度長岡市子ども・子育て会議スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料1に基づき説明 （意見・質問等なし）
委員長	議事（3）長岡市こども計画に係る令和7年度子育て支援施策の実施状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料2に基づき説明 （意見・質問等なし）
委員長	続きまして、事前に委員よりいただいた質問について、担当課より説明をお願いします。
事務局	当日資料2に基づき説明
委員	保育園の民営化を進める上で、さまざまな面で調整が難しい課題もあるかと思いますが、どのようにお考えでしょうか。
事務局	少子化の進行に伴い児童数の減少が進んでいることから、引き続き保育園の民営化の検討は継続するものの、今後、民間事業者から手が上がるような公立園がなくなった場合には、公立園の統廃合に関する検討の比重が高まっていくものと考えています。今後も、児童数の推移や民間事業者の意向等を踏まえながら、関係者との調整を進めていきたいと考えています。
委員	「保育現場の負担軽減」にあるICT化推進に係る経費について、民間園への支援は1回限りとなっており、その後の更新や維持管理は運営費の中で対応しなければなりません。継続的な支援が必要と感じますが、どのようにお考えでしょうか。

事務局	保育園等のＩＣＴ化推進事業については、初期投資に係る部分は国の補助制度が設けられています。一方で、機器の更新や維持管理に要する経費への支援が十分ではないことは認識しています。市独自の支援については、物価高騰対策のような形で必要性が高まった場合には、その都度現場の意見を聞きながら検討していきたいと考えていますが、現時点では財源確保の面から対応は難しい状況にあります。
委員長	児童クラブの民営化にあたっては、地域の独自性や自主性が損なわれているとの意見もあるようですが、一方で、現在の運営体制は５つのエリアごとに区分されていることから、それぞれの地域の特色を生かした取組を展開しやすい面もあると感じています。
委員長	長期休暇期間中の児童クラブにおける食事提供の進捗状況をお聞かせください。
事務局	５つのエリアごとにそれぞれの特色が出てくる可能性はあるものの、運営については１つの事業者へ委託していることから、全体として統一性のある運営が図れていくものと認識しています。
事務局	食事提供については、７月末から弁当の配食サービスを開始することになり、この夏休みから全児童クラブの約８割で実施することとなっています。
委員長	議事（４）長岡市こども計画に係る子育て支援施策の指標の追加について、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料３に基づき説明
委員長	就労継続支援Ａ型及びＢ型とは、どのような制度なのかを説明してください。
事務局	就労継続支援Ａ型は、事業所と利用者が雇用契約を締結し、給与の支払いを受けながら働くことができる福祉サービスです。一方、就労継続支援Ｂ型は、雇用契約を結ばず、利用者が行った作

	業に応じて工賃を受け取るもので、いずれも福祉的就労の場として位置づけられています。
委員	就労選択支援とは、どのような支援を行う制度なのでしょうか。例えば、就労先の紹介や斡旋まで含まれるのでしょうか。
事務局	就労選択支援は、就労先の紹介や斡旋、就職先へ直接つなぐことを目的としたサービスではありません。障害のある方が実際の作業等を体験する中で、就労選択支援事業所が、本人の特性や得意・不得意、向き・不向き、本人の希望等を把握し、どのような分野で能力を発揮できるかについてアセスメントを行うものです。その結果として、本人の特性や強み、配慮が必要な点等を整理し、関係機関にフィードバックすることで、その後の進路について考えるヒントを得られるというものです。
委員長	議事（５）「保育提供体制の確保のための実施計画」及び「整備計画」の承認について、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料４に基づき説明 （意見・質問等なし） 承認
委員長	議事（６）長岡市子ども・若者の権利条例について、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料５に基づき説明 （意見・質問等なし）
委員長	以上で議事は終了となります。最後に、新任委員の皆様から、会議に参加されたご感想や、また全体を通してのご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。
委員	本日は、事務局からの説明に加え、委員の皆様からさまざまなご質問やご意見を伺うことができました。会議に参加する前は、この場でどのような意見を述べればよいのかと考えておりましたが、委員の皆様からは現場の実情や率直なお考えが数多く出され、それに

委員	対して事務局が丁寧に回答されている様子を拝見し、大変有意義な会議であると感じました。本日はありがとうございました。 長岡青年会議所の立場から参加させていただきました。本日は、子どもを取り巻く環境の中で、今何を最も重要な課題として捉えるべきかということを考えながら参加させていただきました。本日お聞きした課題は、青年会議所に持ち帰り、共有していきたいと考えています。また、青年会議所は20代から40代の経営者等で構成されておりますので、今後、連携できる部分があればお声がけいただければと思います。 このほか、民間企業の経営者という立場からも参加させていただきました。議事の中で障害者雇用に関する話題もありましたが、障害者雇用を進める上では、受け入れ先を確保するだけでなく、働く場や仕事そのものを創出していくという視点も重要であると感じました。本日はありがとうございました。
委員	保育士の心理的安定性の面で市で課題に感じていることや実施していることを教えてください。
事務局	現場における職員の負担感が課題であると認識しています。配慮を必要とする子どもの数が増加している状況にあり、それに伴い、現場で対応する職員の負担も増していると捉えています。こうした課題に対応するため、職員の負担軽減を図るとともに、配慮を必要とする子どもへの支援や指導方法が適切であるかを確認する目的で、外部の有識者2名を招聘しています。公私問わず各園へ派遣し、実際の保育現場を見ていただいた上で、具体的な助言や指導を受けたり、職員への励ましの言葉をいただいたりしています。アンケートの結果からも、「現場の負担が軽減された」、「自分の保育に自信を持つことができた」といった声が寄せられており、一定の効果が確認できているところです。今後もこうした取組を継続するとともに、長岡市の保育士、保健師、心理士等の多職種で構成する「みらいのたねサポートチーム」と連携を図りながら、現場の負担を軽減できるような取組を進めていきたいと考えています。
委員	少人数化が進んでいる地域の学校の統合については、どのような基準や考え方に基づいて進めているのでしょうか。

事務局	今後も複式学級が継続することが見込まれる学校については、必要な情報提供を行うとともに、保護者や地域の皆様のご意見を丁寧に伺いながら、今後の方向性についての検討を進めていくこととなります。
委員	スクールソーシャルワーカーという立場から参加させていただきました。支援を必要とする子どもたちは、自分自身の状況や気持ちを客観的に捉えることが難しい場合があります。また、年齢が低い子どもほど、自分の思いや考えを言葉で表現すること自体が容易ではありません。このような子どもたちの声を行政に届けていくことは、子どもたちを支える大人にとって非常に重要な視点であると考えています。そのため、子どもたちと日常的に関わり、直接その声に触れている現場の意見についても丁寧に汲み取っていただくことで、地域の子どもの思いや実情が行政により適切に届くのではないかと感じました。
委員	本日の会議を通じて、さまざまな分野の方がそれぞれの知識や経験を持ち寄り、長岡市の子どもたちのために尽力されていることを改めて感じました。私は幼稚園の立場で参加しておりますが、幼稚園での取組一つひとつが、長岡市の子どもたちを支える施策の一端を担っていることに誇りを感じています。今後も職員一同、子どもたちに寄り添い、それぞれの夢や目標の実現に向けて、しっかりと関わりながら支援していきたいと思います。本日はありがとうございました。
委員	こども園や児童クラブは地域にとってなくてはならない存在です。一方で、子どもの減少が進む中では、今後、施設の運営が難しくなるケースも増えてくると思います。また、一時的な需要に対応して児童クラブ等を整備したとしても、その先を見据えると運営面で課題が生じることも考えられます。後になって大きな課題とならないように、市には、公立・民間の双方の意見を丁寧に聞きながら、保育園・幼稚園協会や児童クラブの運営事業者とも十分に連携し、将来を見据えた取組を進めていただければと思います。

委員	本日は諸事情により途中からの参加となりました。私から質問をさせていただいたヤングケアラー支援については、関係者同士の横の連携をより一層深めていただくことが重要であると感じました。また、支援を必要としている子どもや家庭に早期につながるができるよう、既存の仕組みやネットワークを有効に活用しながら、アウトリーチの手法についても工夫を重ねていただければと思います。
アドバイザー	7 アドバイザーからのまとめ ・施策の振り返りについて 本日の議論を通じて、「子どもたちの日々の生活保障をどのような環境の中で確保していくか」ということが、現在の大きな課題であり、多くの皆様が関心を寄せていることであると感じました。日々の生活保障は、目に見えやすいものではありませんが、子どもたちが健やかに育つためには非常に重要な要素であると考えます。 子どもの数は減少している一方で、支援や配慮を必要とする子どもは増えている状況にあります。そのような中で、すべての子どもたちが安心して成長できる環境をどのように確保していくのが、今後ますます重要になると感じました。 ・子ども・若者の意見聴取について 子どもの権利について改めて確認し、共有できたことは非常に重要と感じました。行政には、子どもの声をしっかりと聴き、その意見を政策に反映していただきたいと思います。 また、子どもの声を聴くことは行政だけの役割ではありません。子どもたちは乳幼児期から、家庭や地域等さまざまな場面において、自分の声を受け止めてもらい、大人や社会とともに成長していく経験を積むことが重要となります。 そのため、それぞれの職場や立場において、どのように子どもの声を聴き、尊重していくかを考え、具体的な取組として実践していくことが求められるかと思います。さまざまな場面で子どもの声大切にされる社会となることで、子どもたちがより安心して過ごしやすい環境の形成につながると思います。

事務局	・保育について 長岡市全体として将来を見据えながら、どのように保育提供体制を確保していくのか、また、保育の場を通じて子どもたちの育ちを支える環境や子育て支援の環境をどのように構築していくのかという視点を大切にしながら、取組を進めていただければと思います。 また、支援や配慮を必要とする子どもが増えている中で、最前線で子どもたちの育ちを支えている保育士や支援員をはじめとする支援者へのサポート体制をどのように充実させていくかも重要な課題であると感じています。支援者が安心して子どもたちと向き合える環境を整えることで、結果として支援者を守ることにつながり、ひいては子どもたちの健やかな成長を支えることにもつながると考えています。 8 閉会
9 会議資料 別添のとおり	